

# 事務事業評価シート

(H.28)No.	1462	(H.27)No.	-
-----------	------	-----------	---

事務事業名	三重国体準備事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
教育委員会事務局	市民スポーツ室	合田 卓也	

会計区分	事業コード
一般会計	(中事業名)※予算書事業名
款 教育費	三重国体準備事業
項 保健体育費	(小事業名)
目 保健体育総務費	三重国体準備事業

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	豊かな心と健やかな体を育み暮らせるまち
	基本施策	2	生涯学習・生涯スポーツの推進
	施策	2	生涯スポーツ
	小施策		
重点施策コード			

## 2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
平成33年に三重県で開催される第76回国民体育大会に向け、競技開催並びに来場等に関する事前準備を実施し、円滑な大会・競技運営や市民がこぞって参加できる体制を構築します。
事業内容
開催に向けた国体準備に関する視察費用及び準備委員会の設立。 競技会場となっているホッケー競技の振興及び底辺拡大、技術力強化を図るための環境整備費用。

## 3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.27年度(事業量・取組実績)	H.28年度(事業量・取組計画)	H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)
主な事業の実績・計画		三重国体に関する準備事業 国体先催県視察旅費 84千円 消耗品費 100千円 印刷製本費 80千円 使用料及び賃借料 156千円 備品購入費 848千円	準備委員会運営経費 消耗品費200千円 視察旅費150千円 使用料及び賃借料 150千円	経費 消耗品費300千円 視察旅費150千円 印刷製本費300千円 使用料及び賃借料 150千円	経費 消耗品費300千円 視察旅費150千円 印刷製本費300千円 使用料及び賃借料 150千円

	H.27年度(決算見込)	H.28年度(作成時予算額)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)
①直接事業費		1,268千円	500千円	900千円	500千円
内訳(千円)					
国・県支出金					
地方債					
その他( )					
一般財源	(0)	1,268	500	900	500
人工数					
職員		0.60人	0.60人	0.60人	0.60人
臨時職員等	0.00人	0.01人	0.01人	0.01人	0.01人
②概算人件費	(0千円)	4,577千円	4,577千円	4,577千円	4,577千円
①+②総事業費	(0千円)	5,845千円	5,077千円	5,477千円	5,077千円

## 4. 担当室による事務事業の点検 (\*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.27年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
第76回国民体育大会(三重とこわか国体)の開催に向けた諸準備を計画的かつ着実に推進します。	平成33年の大会開催に向けた諸準備を着実に推進するため、準備委員会の設置や競技場の整備などを計画的に進めるとともに、広報活動や競技力向上に取り組めます。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか A(2つ以上の施策指標達成に貢献又は基本方針達成に特に貢献)	国体開催を契機に市民の皆様のスポーツへの関心を向上させ、スポーツの日常化につなげるとともに、スポーツ環境の整備につなげます。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 実践している(※実践内容を記載→)	関係機関と十分に連携して計画策定を行うとともに、市民総ぐるみで参画いただける体制を構築します。

## 5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(拡大)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画
庁内組織の体制整備を含め、関係機関と十分に連携を行いながら、計画的に準備を進めます。	スポーツ推進計画